

二十卷

全

57X
94
23

準貴



人舞



陽々耕田家

紛々松山會

翩翩先也

存感勅

人舞

人

人

人

人

人

人

人

人

人



象の飼養

象の飼養は、
 山林の奥に
 築かれたり
 其の地は
 水と土と
 草木と
 鳥獣と
 悉く備へ
 るに依りて
 飼養すべし
 其の飼養
 法は、
 山林の奥に
 築かれたり
 其の地は
 水と土と
 草木と
 鳥獣と
 悉く備へ
 るに依りて
 飼養すべし
 其の飼養
 法は、

漢文帝

仁孝治天下

禮之冠百王

漢廷事漢母

湯東必親寧

漢文帝の漢入るは世の師子

るりいよきとるいゆりよとんゆ

そやゆりも母房たなよな

外よゆりつる合らなむら

せらるるゆりよすくす

いゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆり

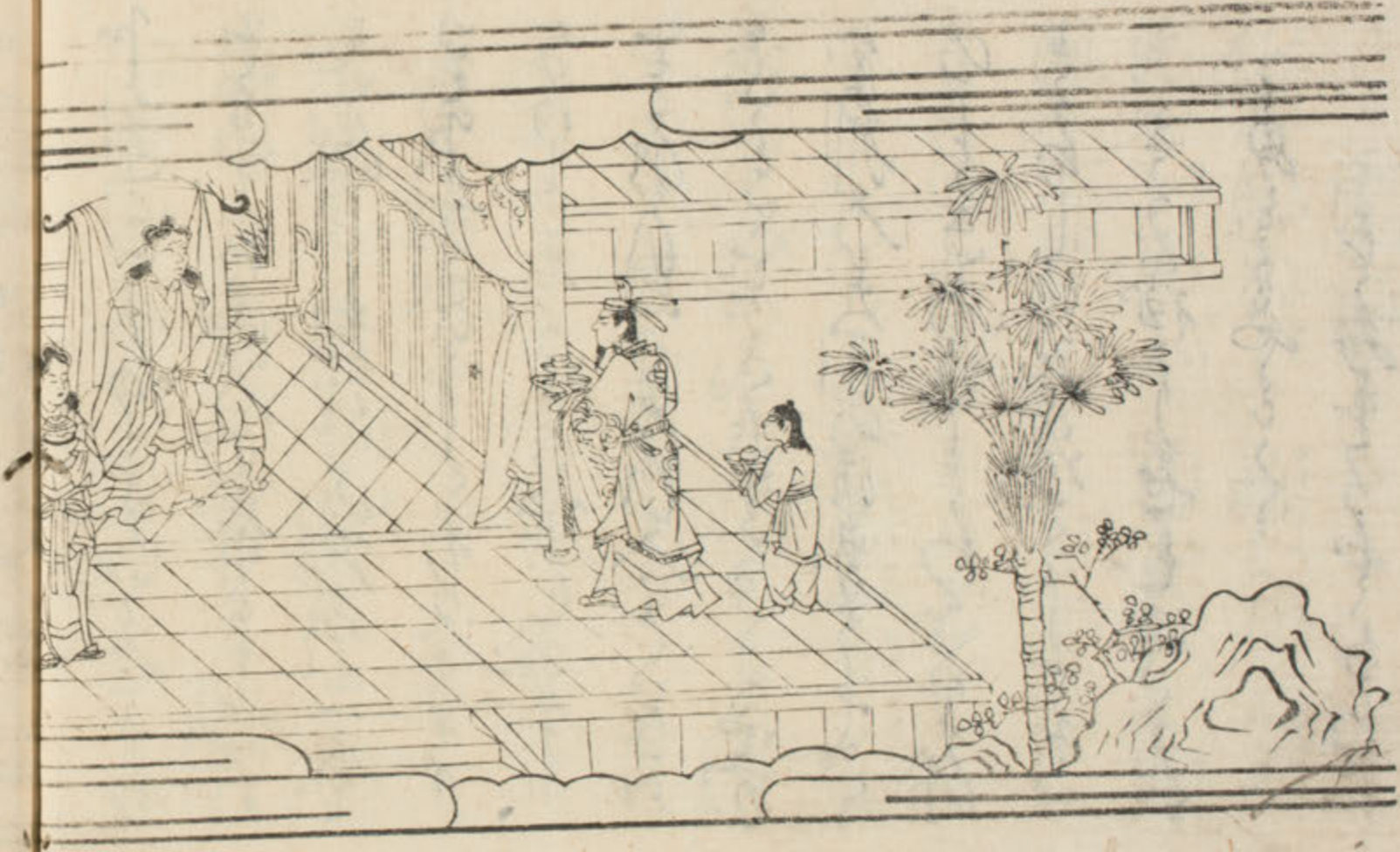
ゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆり



丁業

新よる父

新よる父

おのゝち

おのゝち

丁業の海

人

つ

像

し

る

お

く

あ

ら



2 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000

高宗 子恭茂 次子恭

淵瀾翔風

蕭竹牧琴

源史雲華

天竺平安

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

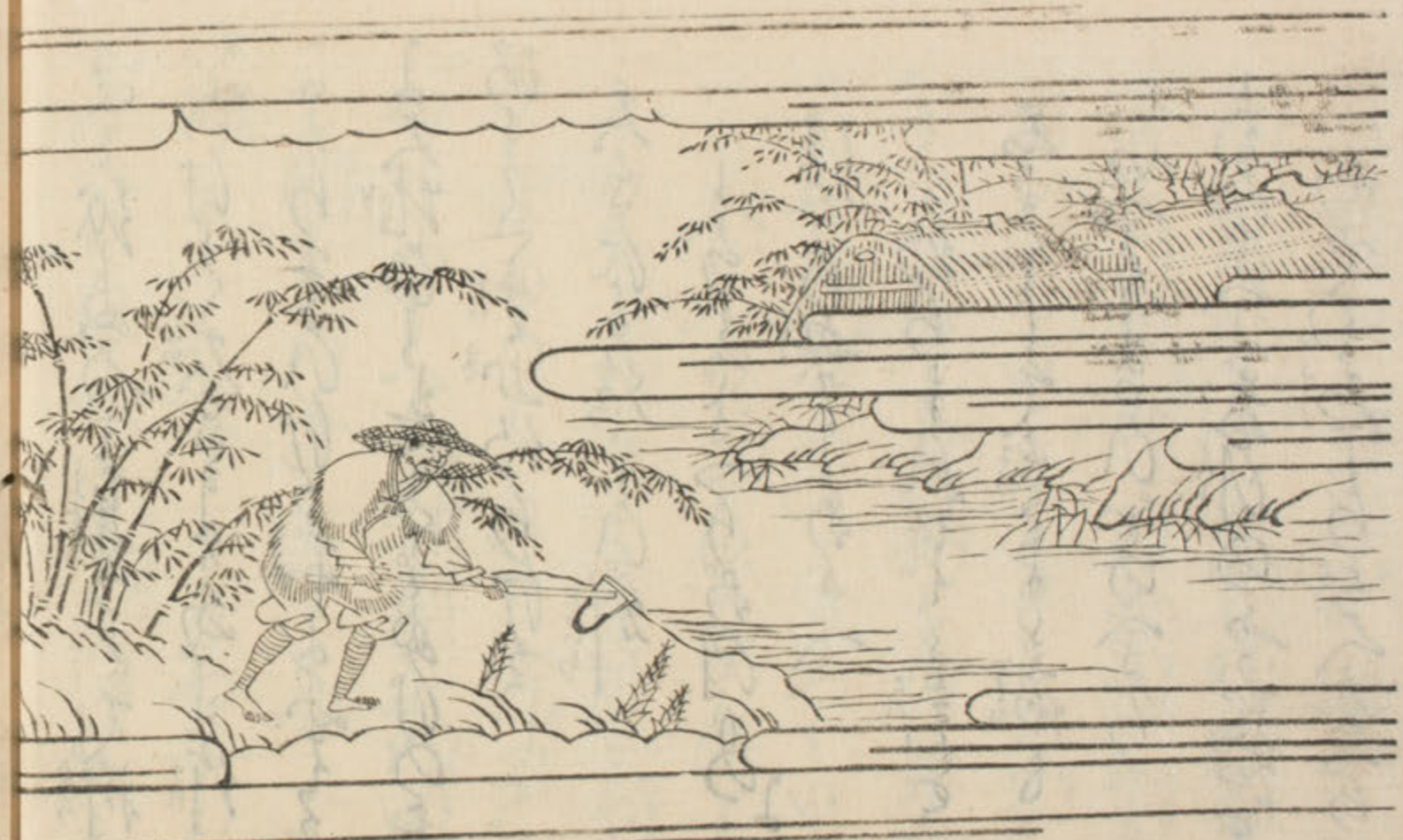
...

...

...

...

...



岡子寒かゝいせん

岡子寒かゝいせんは
かゝいせんの寒かんは

何なにも
かゝいせんの寒かんは

そこの寒かんは

三子さんの風かぜ霜しも

びんびんももいいて

ぬぬももいいて

ししももいいて

つつももいいて

ふふももいいて

りりももいいて

ららももいいて

ららももいいて

ららももいいて

岡子寒かゝいせんの寒かんは

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 14 lines of text.

Handwritten text in Arabic script, appearing as a single line or short phrase.

Handwritten text in Arabic script, appearing as a single line or short phrase.



ある人

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

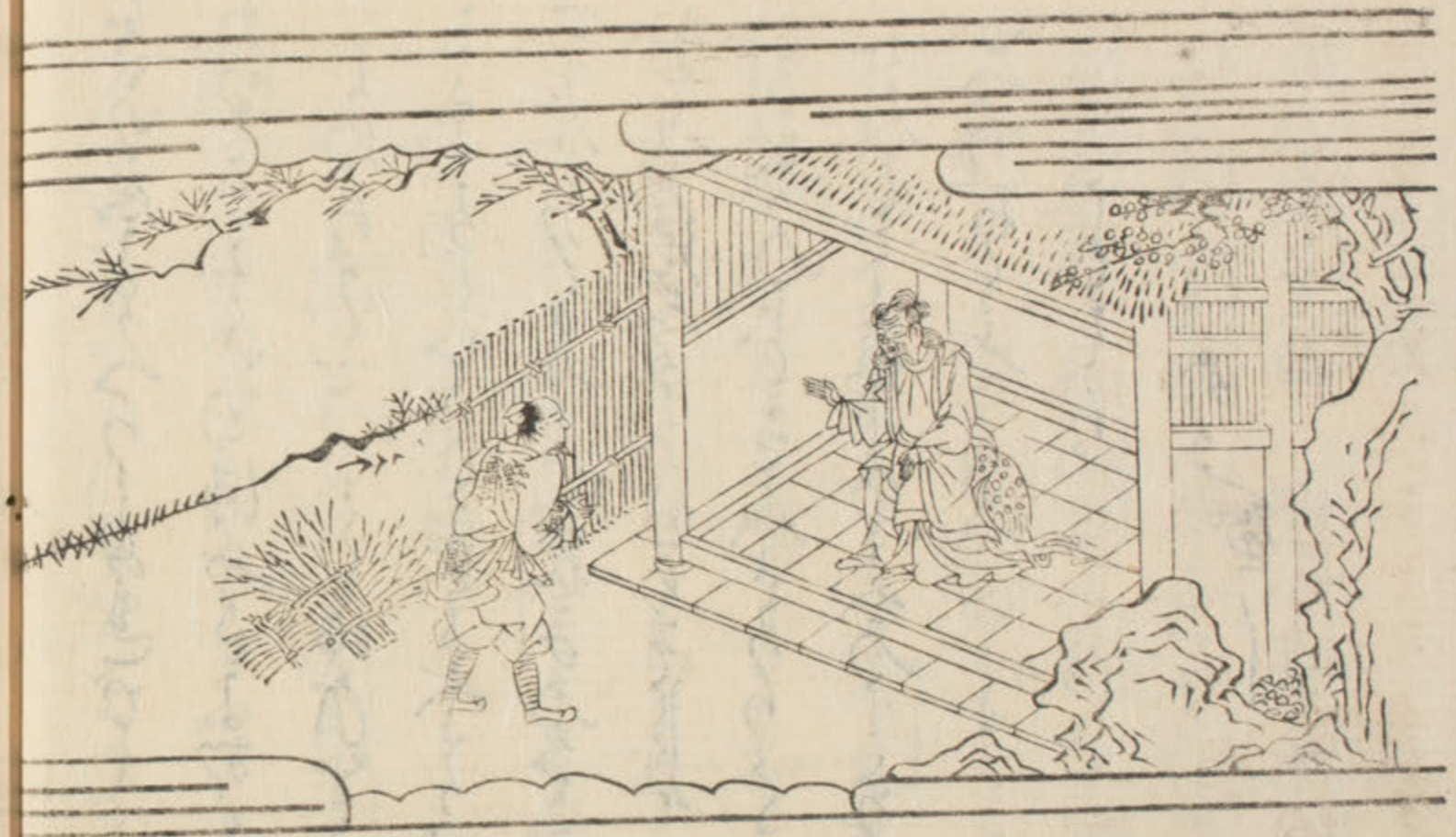
おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで

おかげで
おかげで



玉祥

律母人らるる

玉祥と申す

玉今何なる

一戸外水換

玉祥の玉は

玉の玉は

玉の玉は

玉の玉は

玉の玉は

玉の玉は

玉の玉は

玉の玉は

玉の玉は

玉の玉は

老萊子

戲弄學子嬌態

子也幼時

雙親用白笑

甚矣

らーらーらー人々おやー

はー人々おやー老萊

子々おやーおやー

おやーおやーおやー

おやーおやーおやー

おやーおやーおやー

おやーおやーおやー

おやーおやーおやー

おやーおやーおやー

おやーおやーおやー

おやーおやーおやー

おやーおやーおやー

おやーおやーおやー

おやーおやーおやー

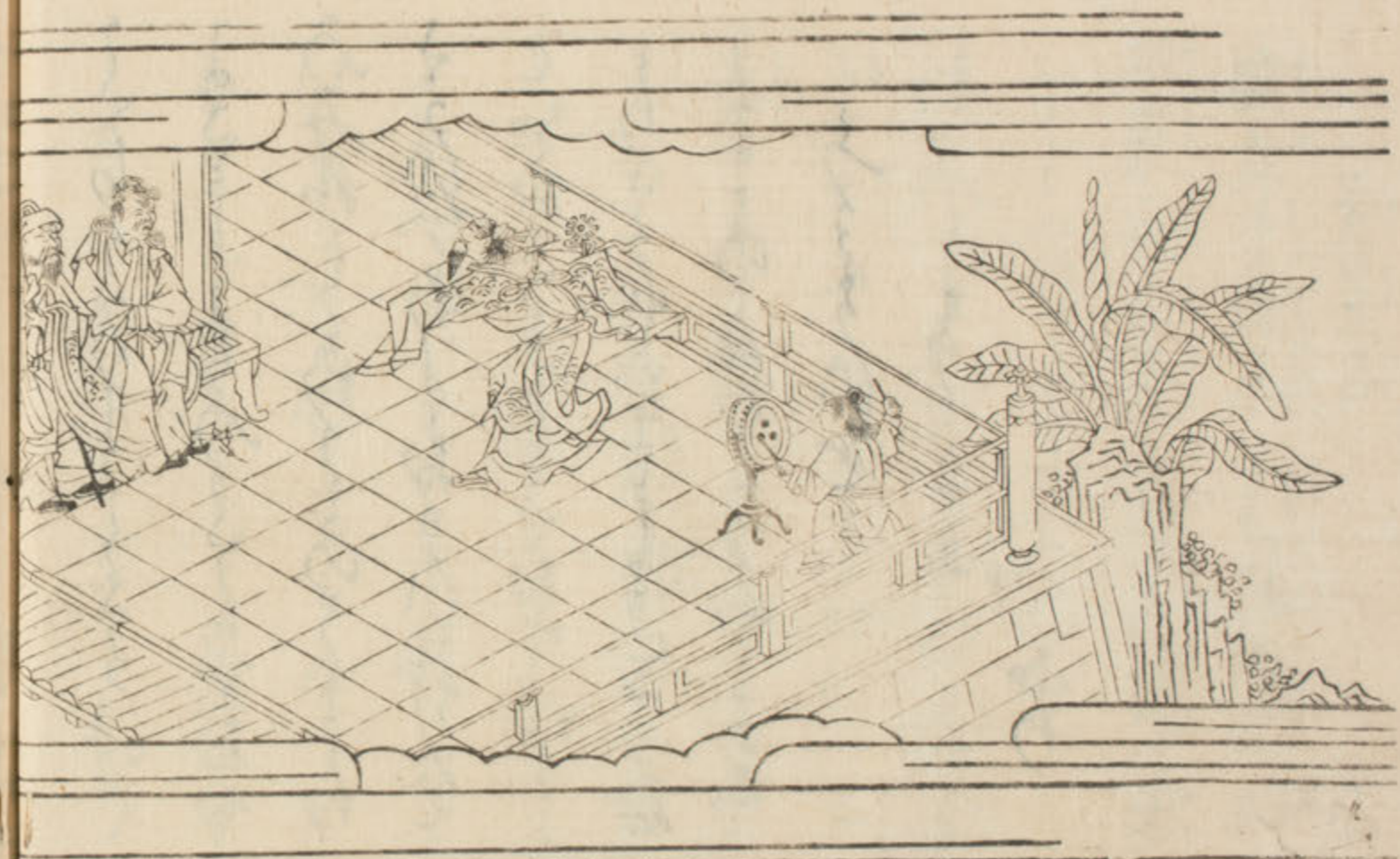
おやーおやーおやー

おやーおやーおやー

おやーおやーおやー

おやーおやー

おやーおやー



美詩

今例申すは

一物おぼゆる

子能く事す

ぬらふは

あはれなる

あはれなる

あはれなる

あはれなる

あはれなる

あはれなる

あはれなる

あはれなる

あはれなる

あはれなる

鹿丈人

名敷鹿丈人

乳姑晨恩物

し思す

秋ゆき

鹿丈人

鹿丈人

鹿丈人

鹿丈人

鹿丈人

鹿丈人

鹿丈人

鹿丈人

鹿丈人

鹿丈人

鹿丈人

鹿丈人

鹿丈人

鹿丈人

鹿丈人

鹿丈人

鹿丈人

鹿丈人

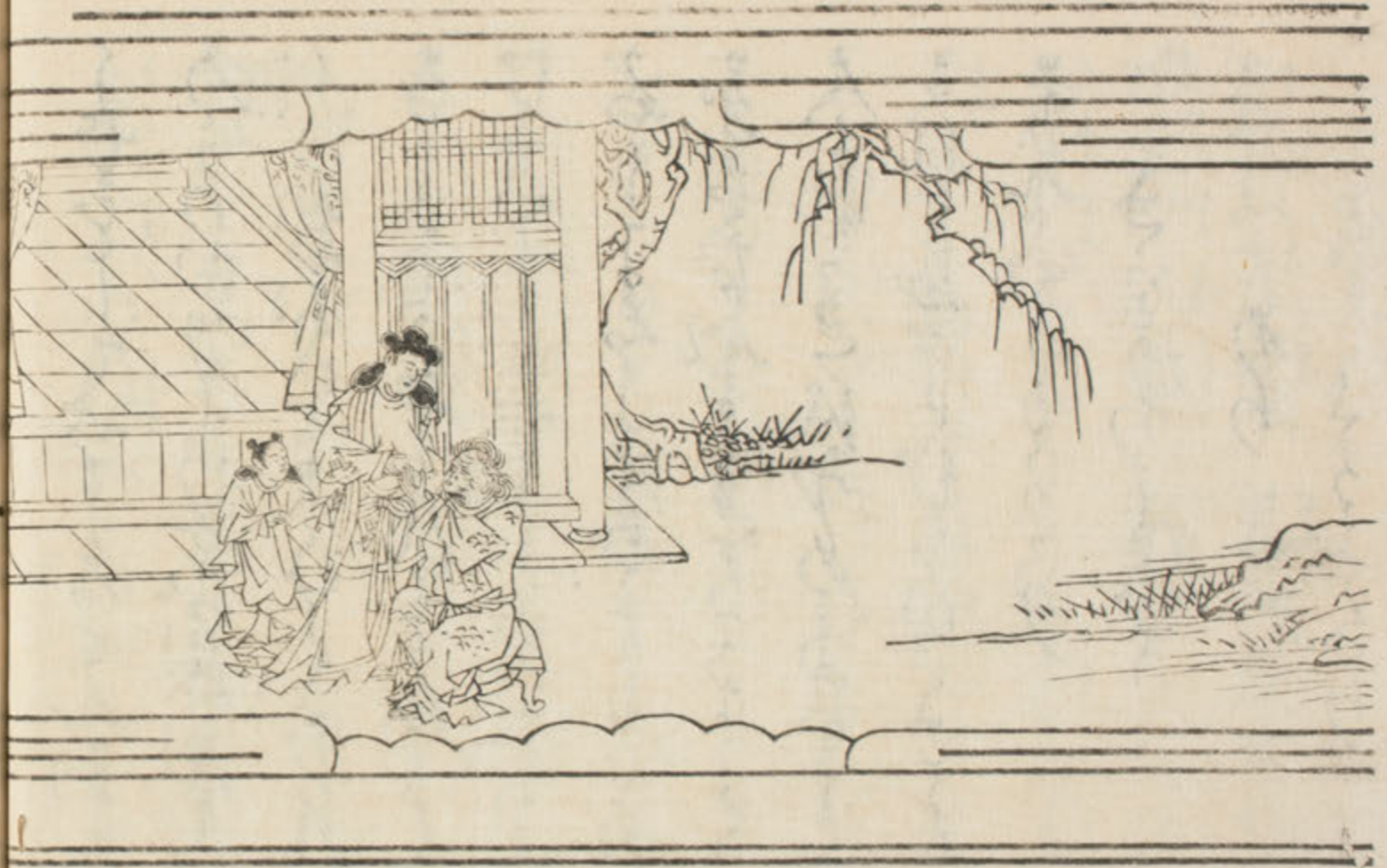
鹿丈人

鹿丈人

鹿丈人

鹿丈人

鹿丈人



揚子江

源山 逢白歌

努力持釋風

史子 修志

扱力 終用中

揚子 書のひりり

あつ 何と

しよ ぶ

よ あり

し ぶ

よ ぶ

し ぶ

よ ぶ

し ぶ

よ ぶ



虎の歩む所を
 人の歩む所と
 思ふは人の心
 の狭しき事
 人の心は
 虎の心より
 狭しき事
 人の心は
 虎の心より
 狭しき事
 人の心は
 虎の心より
 狭しき事
 人の心は
 虎の心より
 狭しき事
 人の心は
 虎の心より
 狭しき事

世尊の氷

弁文貸方番

天奴海下連

織物債債生

存家おの知名

昔の氷のりまふまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ

のりまふのりまふのりまふのりまふ



サキヨロ

冬月夜夜

夏と秋

洞金

子

九月

八月

七月

六月

五月

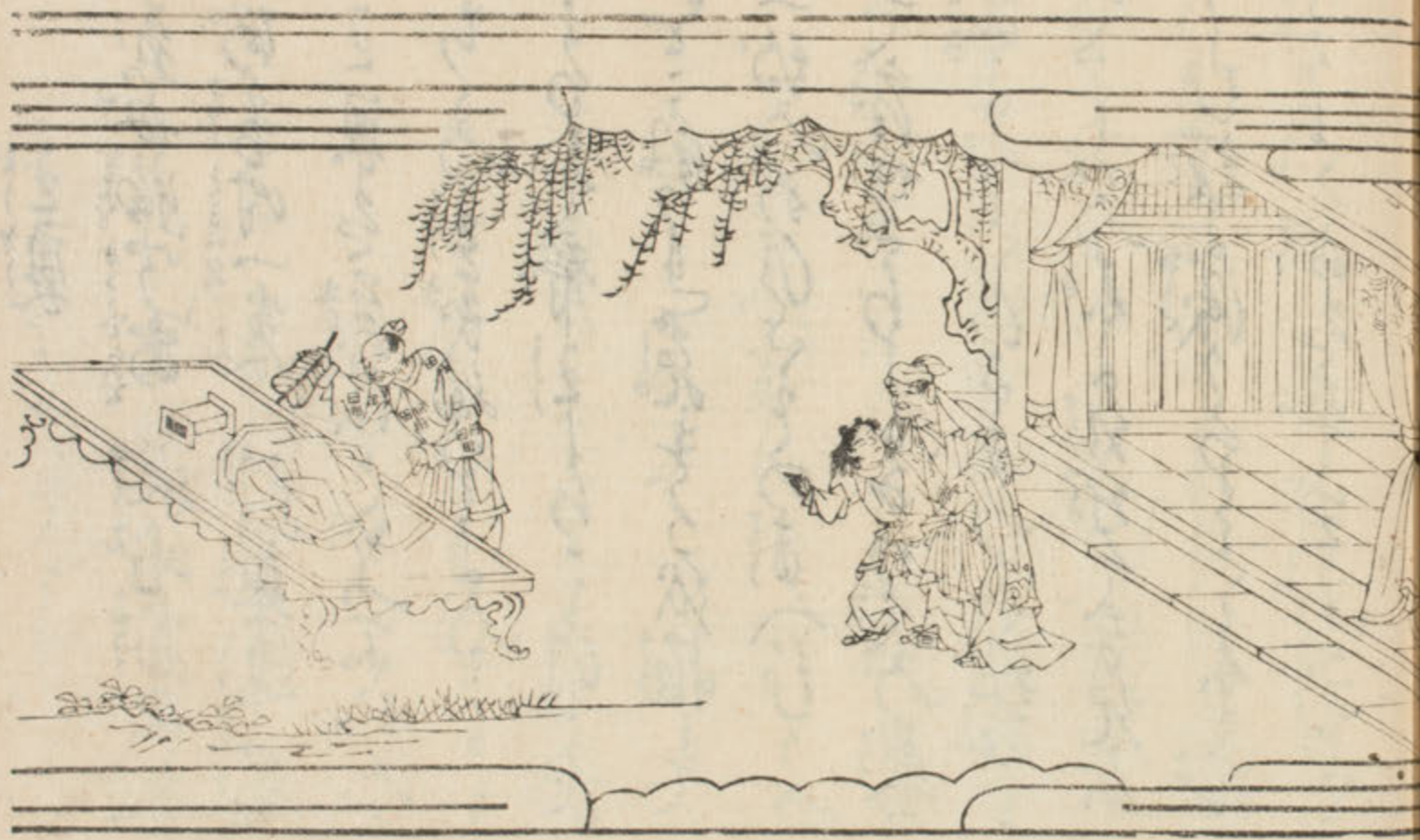
四月

三月

二月

正月

十二月



かみり

うりし

あり

あそび

らん

あそびはうきうき
 今も昔もあそびはうきうき
 今も昔もあそびはうきうき
 今も昔もあそびはうきうき
 今も昔もあそびはうきうき
 今も昔もあそびはうきうき
 今も昔もあそびはうきうき

二ノ里

新田物中書

水鏡宮御來卷

河島村一農

外島邊子廻

二真のい受法

ら

う

え

い

う

え

い

う

え

う

え

い

う

え

う

え

い

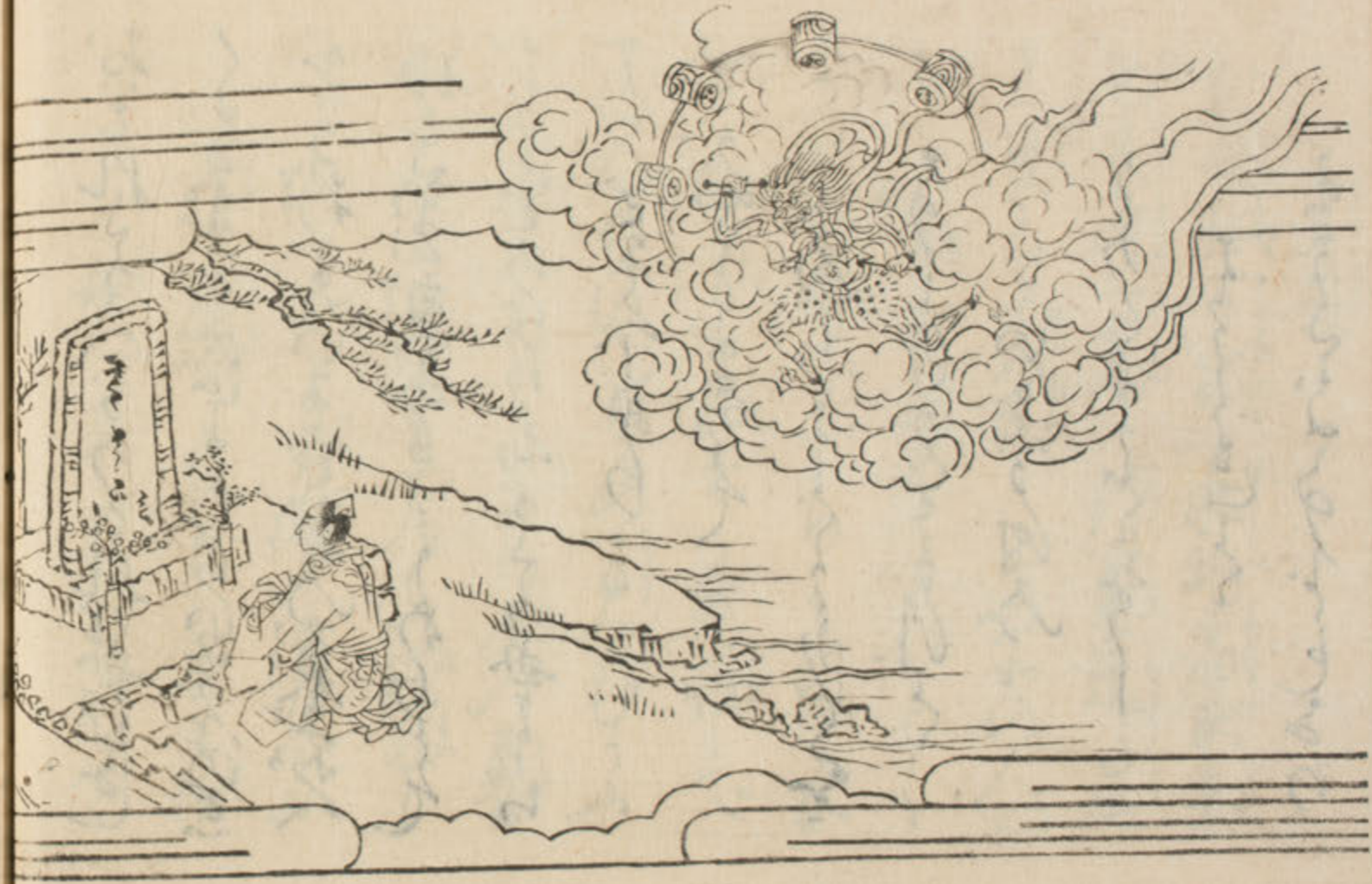
う

え

い

う

え



鄭信

鄭信
 鄭信
 鄭信

鄭信
 鄭信
 鄭信

鄭信
 鄭信
 鄭信

鄭信
 鄭信
 鄭信

鄭信
 鄭信
 鄭信

鄭信
 鄭信
 鄭信

鄭信
 鄭信
 鄭信

鄭信
 鄭信
 鄭信

鄭信
 鄭信
 鄭信

鄭信
 鄭信
 鄭信

鄭信
 鄭信
 鄭信

鄭信
 鄭信
 鄭信

鄭信
 鄭信
 鄭信

集夢の巻

七葉生しちせうせい報母ほうぼ

冬ふゆ高たか文ぶん十じゅう年ねん

一いち船ふねおおかからら西にし

長なが崎さきのの船ふねのの人ひと

朱しゆのの船ふねのの人ひとのの心こころ

のの心こころのの心こころのの心こころ

のの心こころのの心こころのの心こころ

のの心こころのの心こころのの心こころ

のの心こころのの心こころのの心こころ

のの心こころのの心こころのの心こころ

のの心こころのの心こころのの心こころ

のの心こころのの心こころのの心こころ

のの心こころのの心こころのの心こころ

のの心こころのの心こころのの心こころ

のの心こころのの心こころのの心こころ

のの心こころのの心こころのの心こころ

のの心こころのの心こころのの心こころ

のの心こころのの心こころのの心こころ

のの心こころのの心こころのの心こころ

のの心こころのの心こころのの心こころ

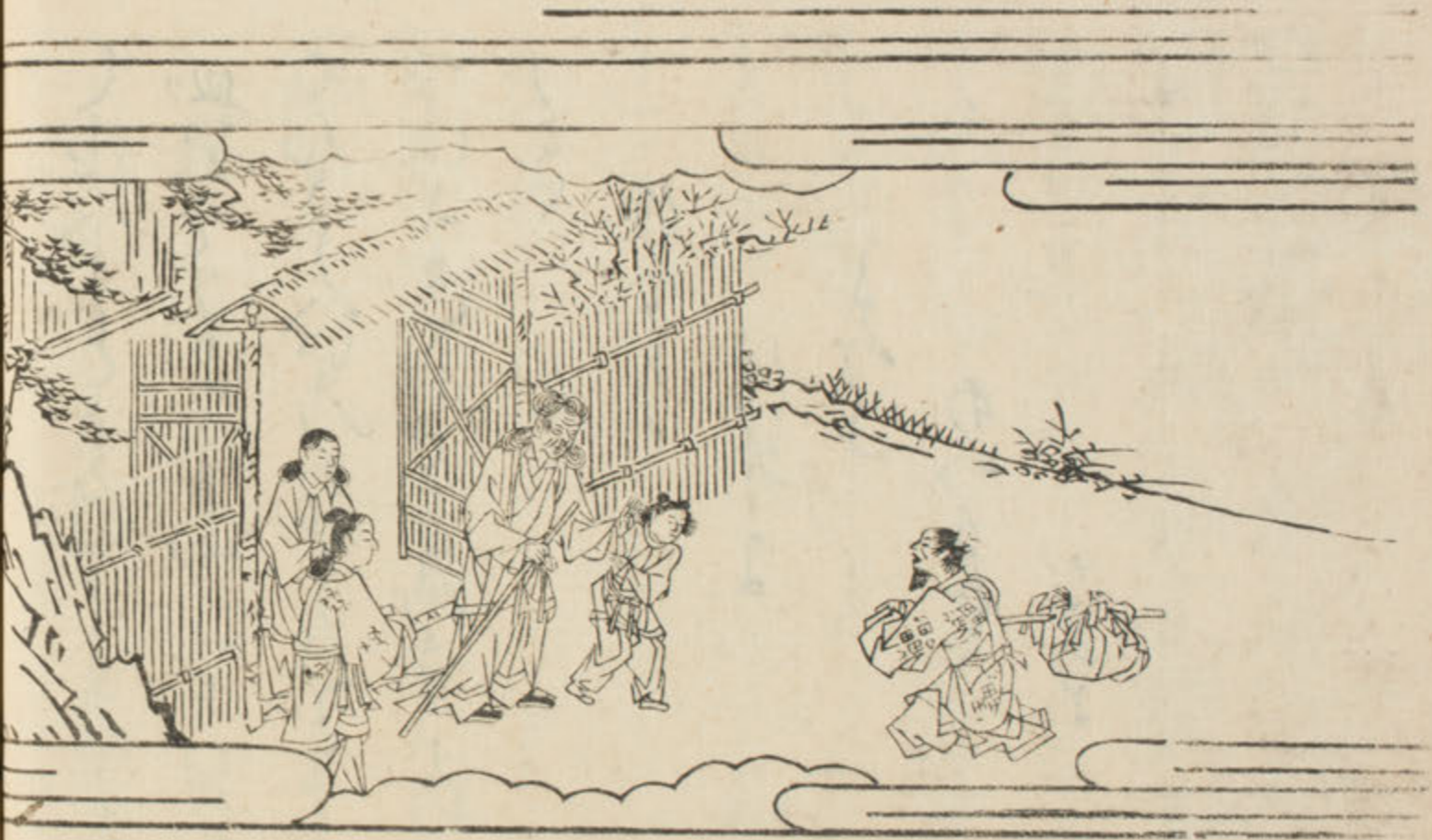
のの心こころのの心こころのの心こころ

のの心こころのの心こころのの心こころ

のの心こころのの心こころのの心こころ

のの心こころのの心こころのの心こころ

のの心こころのの心こころのの心こころ



割子!

お親お乳

お掛お福

お乳お福

お福お乳

お乳お福お乳お福

お福お乳お福お乳

お乳お福お乳お福

お福お乳お福お乳

お乳お福お乳お福

お福お乳お福お乳

お乳お福お乳お福

お福お乳お福お乳

お乳お福お乳お福

お福お乳お福お乳



此の山は古くより名高い山なり
 昔は山王様と申す御霊が
 居りて山王様御霊の御
 威光は遠くまで届き
 今も山王様御霊の御
 威光は遠くまで届き
 今も山王様御霊の御
 威光は遠くまで届き
 今も山王様御霊の御
 威光は遠くまで届き
 今も山王様御霊の御
 威光は遠くまで届き
 今も山王様御霊の御
 威光は遠くまで届き

夢吹

思懐^{しんがく}もも親^{しん}聞^き

啼^な泣^な淚^な浦^{うら}吹^ふ

赤^{あか}眉^{まゆ}知^しる^る吹^ふ

昔^{むかし}未^{いま}始^{はじめ}と^と吹^ふ

夢^{ゆめ}吹^ふの^の浦^{うら}南^{みなみ}と^と吹^ふと^と吹^ふの^の人^{ひと}

王^{おう}莽^{もう}と^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふの^の末^{すえ}

天下^{あめ}下^{くだ}ま^ま礼^{れい}又^{また}礼^{れい}禮^{らい}と^と吹^ふ

よ^よ吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふ

吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふ

吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふ

吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふ

吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふ

吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふ

吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふ

吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふ

吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふ

吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふ

吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふ

吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふ

吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふ

吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふ

吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふ

吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふ

吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふ

吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふ

吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふ

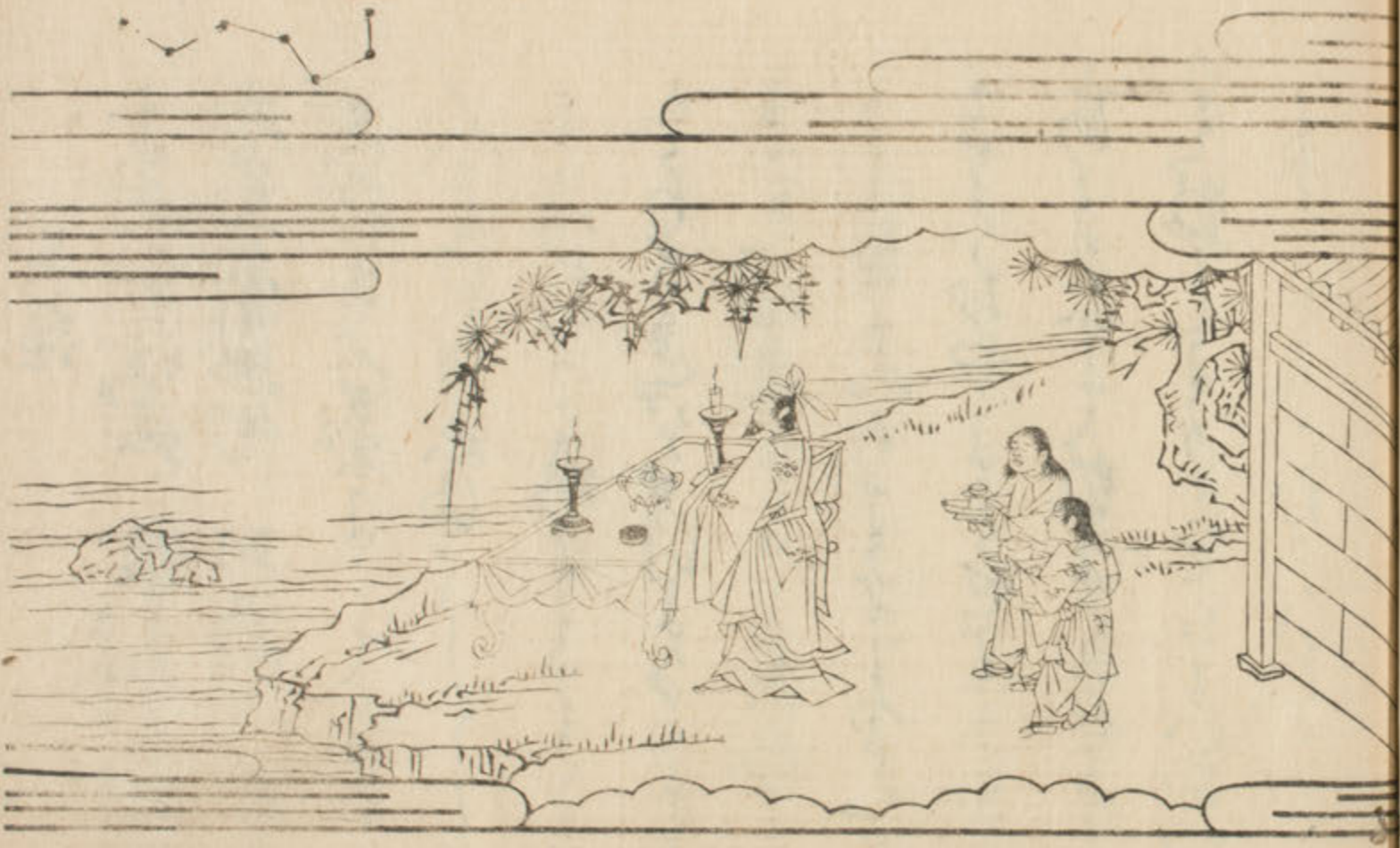
吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふと^と吹^ふ

۱۰
 ۱۱
 ۱۲
 ۱۳
 ۱۴
 ۱۵
 ۱۶
 ۱۷
 ۱۸
 ۱۹
 ۲۰
 ۲۱
 ۲۲
 ۲۳
 ۲۴
 ۲۵
 ۲۶
 ۲۷
 ۲۸
 ۲۹
 ۳۰
 ۳۱
 ۳۲
 ۳۳
 ۳۴
 ۳۵
 ۳۶
 ۳۷
 ۳۸
 ۳۹
 ۴۰
 ۴۱
 ۴۲
 ۴۳
 ۴۴
 ۴۵
 ۴۶
 ۴۷
 ۴۸
 ۴۹
 ۵۰
 ۵۱
 ۵۲
 ۵۳
 ۵۴
 ۵۵
 ۵۶
 ۵۷
 ۵۸
 ۵۹
 ۶۰
 ۶۱
 ۶۲
 ۶۳
 ۶۴
 ۶۵
 ۶۶
 ۶۷
 ۶۸
 ۶۹
 ۷۰
 ۷۱
 ۷۲
 ۷۳
 ۷۴
 ۷۵
 ۷۶
 ۷۷
 ۷۸
 ۷۹
 ۸۰
 ۸۱
 ۸۲
 ۸۳
 ۸۴
 ۸۵
 ۸۶
 ۸۷
 ۸۸
 ۸۹
 ۹۰
 ۹۱
 ۹۲
 ۹۳
 ۹۴
 ۹۵
 ۹۶
 ۹۷
 ۹۸
 ۹۹
 ۱۰۰

۱۰۱

۱۰۲

۱۰۳



吳松

友朋之推挽

故友不能揮

忠於宋晉血死

先彼入親園

吳松之八景よして存ある

人たのむる念は

と流るる水

あはれなる心

と流るる水

あはれなる心

と流るる水

あはれなる心

と流るる水

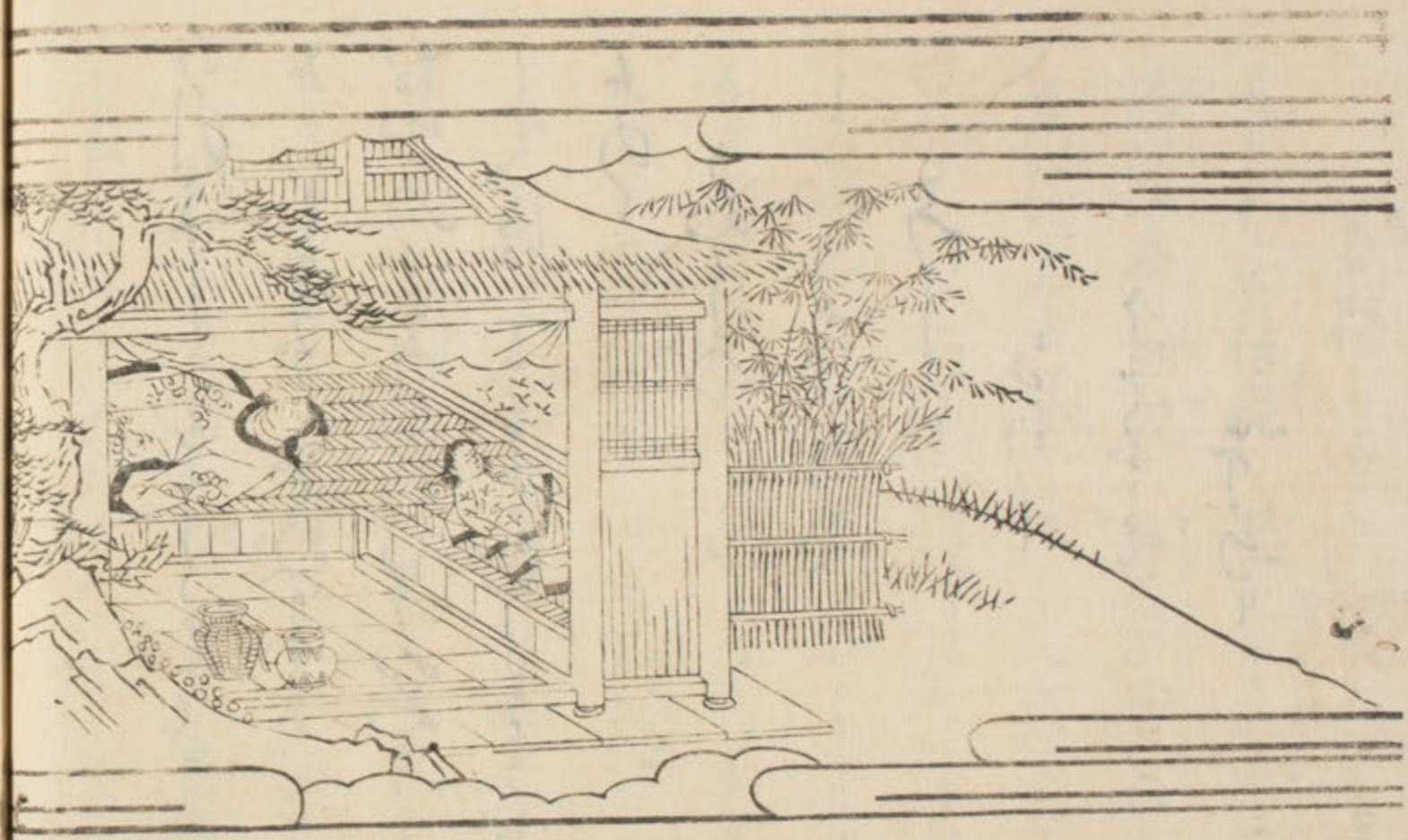
あはれなる心

あはれなる心
と流るる水
あはれなる心
と流るる水
あはれなる心
と流るる水
あはれなる心
と流るる水

あはれなる心
と流るる水

あはれなる心
と流るる水

あはれなる心
と流るる水



強名 強名

偶値 強名

代名 強名

人 強名

強名

強名 強名

強名 強名

強名 強名

強名 強名

強名 強名

強名 強名

強名 強名

強名 強名

強名 強名

強名 強名



ましきとて海へぬは命のちをま
 て海へぬは命のちをま
 せり見の強きとて命のちをま
 のちをまのちをまのちをま
 犯さるは命のちをまのちをま
 敷く強きを授けしとて命のちをま
 のちをまのちをまのちをま
 のちをまのちをまのちをま
 て命のちをまのちをまのちをま
 希しく命のちをまのちをま
 のちをまのちをまのちをま
 のちをまのちをまのちをま

回老 回廣 回老

海老系册物 飛の海にぞ

巻物系海物 兄弟後回石

此の人の書物に

の書物に

の書物に

の書物に

の書物に

の書物に

の書物に

の書物に

の書物に

の書物に

Handwritten cursive text on the right page of the left spread.

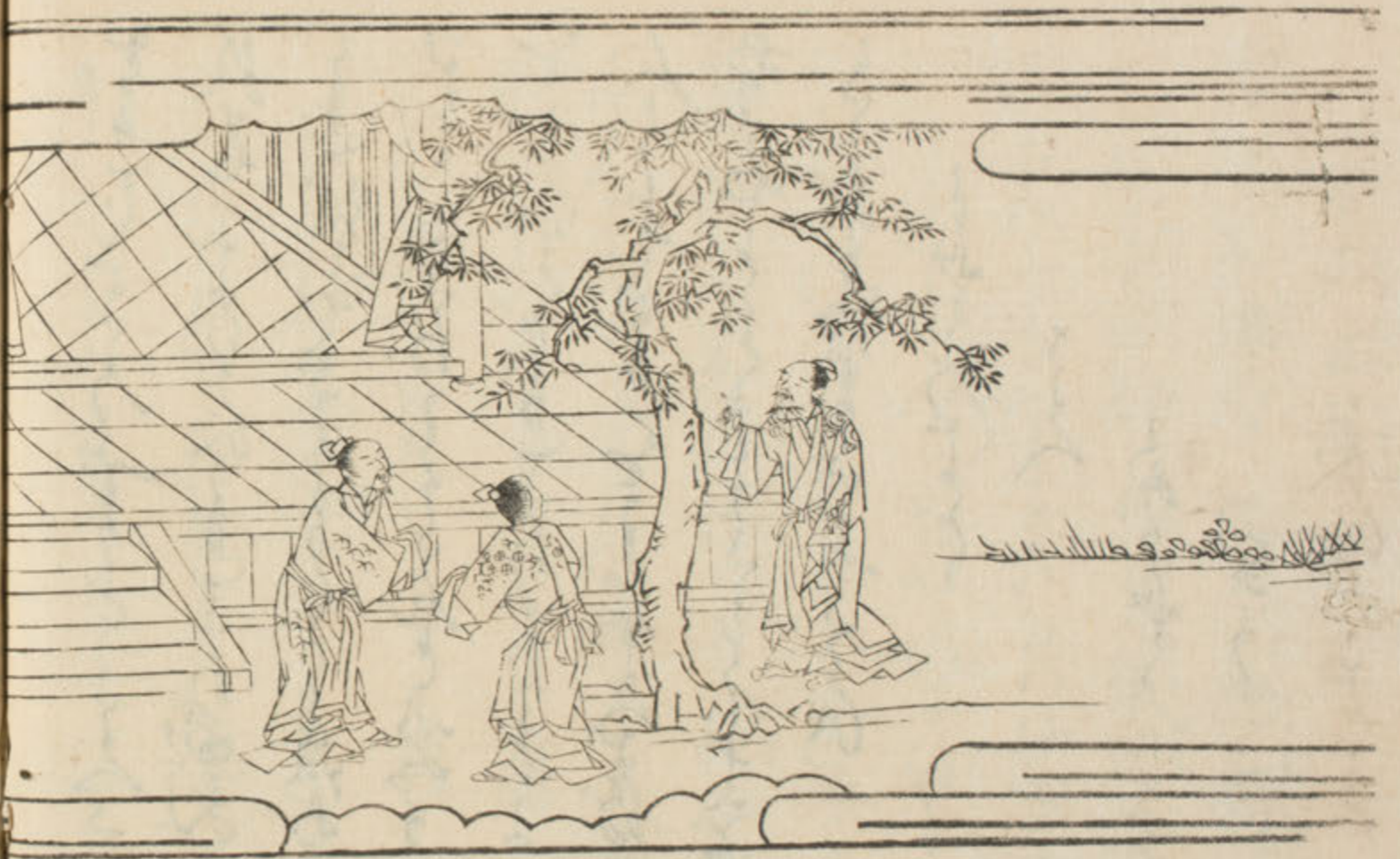
Handwritten cursive text on the left page of the left spread.

Handwritten cursive text on the left page of the left spread.

Handwritten cursive text on the left page of the left spread.

Handwritten cursive text on the left page of the left spread.

Handwritten cursive text on the right page of the right spread.



山崎

きん せん せん せん
 山崎 せん せん せん

ひ せん せん せん
 山崎 せん せん せん

せん せん せん せん
 山崎 せん せん せん

ひ せん せん せん
 山崎 せん せん せん

せん せん せん せん
 山崎 せん せん せん

せん せん せん せん
 山崎 せん せん せん

せん せん せん せん
 山崎 せん せん せん

せん せん せん せん
 山崎 せん せん せん

せん せん せん せん
 山崎 せん せん せん

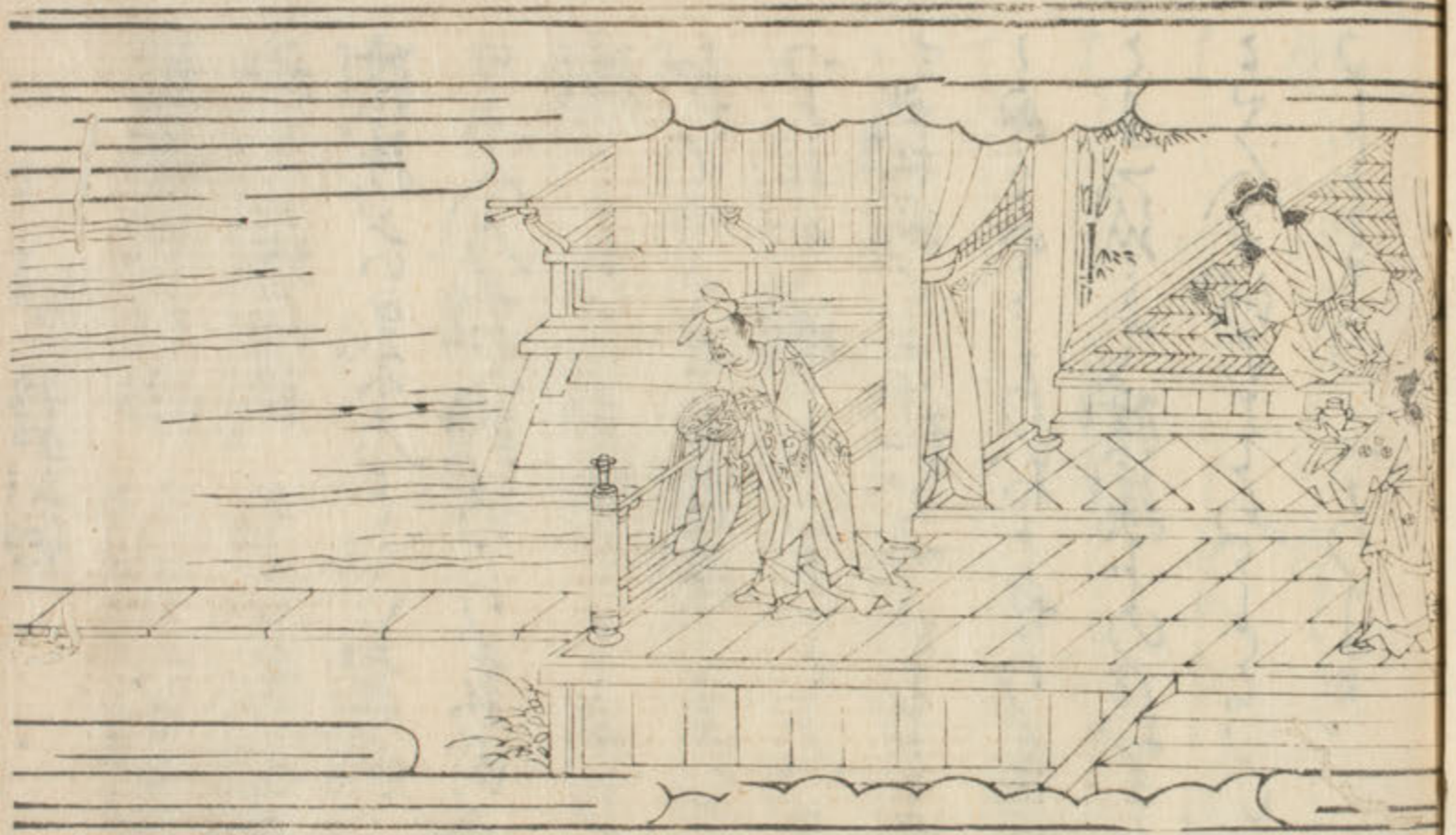
せん せん せん せん
 山崎 せん せん せん

せん せん せん せん
 山崎 せん せん せん

せん せん せん せん
 山崎 せん せん せん

せん せん せん せん
 山崎 せん せん せん

せん せん せん せん
 山崎 せん せん せん



ま

さ

あ

あはれなきはなをよみかへ

あはれなきはなをよみかへ

あはれなきはなをよみかへ

あはれなきはなをよみかへ

あはれなきはなをよみかへ

海鏡

のまゝ

海鏡のまゝ 人の心を見

袖中懐海鏡 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

懐鏡のまゝ 昔の情を

